

臨床福祉総合講義

《履修上の留意事項》社会福祉士国家試験、精神保健福祉士国家試験を受験予定の者は必ず履修すること。

《担当者名》 宮本 雅央 m-miyamoto@hoku-iryo-u.ac.jp 鈴木 和 志水 幸 高橋 由紀 片山 寛信 大友 芳恵(非)
大室 秀幸(非)(主担当、 副担当)

【概要】

この講義では、社会福祉学における基幹科目について、その基本的意義や要点等について、再度総括的に概説する。

【学修目標】

これまでの学習内容のうち、自らの理解が不十分であった箇所を点検し、それらを補充することができる。
社会福祉専門職として必要な学力・総合力を身に付けることができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション 国家試験ガイダンス	オリエンテーション 受験までの過程を理解する	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
2	学内模試	前回国試午前問題	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
3	学内模試	前回国試午後問題	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
4	国家試験ガイダンス	外部講座の活用	大室
5	国家試験ガイダンス	国家試験対策で使用する参考書等の特徴を理解する合格までの学習経過を理解する 学習計画を立てる	宮本
6	科目別国試対策 : 社会学と社会システム	社会学の視点 社会構造と変動 市民社会と公共性 生活と人生 自己と他者	大室
7	合格者体験講話	学習の始め方, 参考書の活用方法, 外部講座を活用した学習の進め方を理解する。	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
8	科目別国試対策 : 貧困に対する支援	貧困の概念 貧困状態にある人の生活実態とこれを取り巻く社会環境 貧困の歴史 貧困に対する法制度 貧困に対する支援における関係機関と専門職の役割 貧困に対する支援の実際	大友
9	科目別国試対策 : 社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理 社会福祉の歴史 社会福祉の思想・哲学、理論 社会問題と社会構造 福祉施策の基本的な視点 福祉政策におけるニーズと資源 福祉政策の構成要素と過程 福祉政策の動向と課題 福祉政策と関連施策 福祉サービスの供給と利用過程 福祉政策の国際比較	志水
10	科目別国試対策 : 地域福祉と包括的支援体制	地域福祉の基本的な考え方 福祉行財政システム 福祉計画の意義と種類、策定と運用 地域社会の変化と多様性・複雑化した地域生活課題 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制 地域共生社会の実現に向けた他機関協働 災害時における総合的かつ包括的な支援体制	宮本

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		地域福祉と包括的支援体制の課題と展望	
11	科目別国試対策 : 社会調査の基礎	社会福祉調査の意義と目的 社会福祉調査における倫理と個人情報保護 社会福祉調査のデザイン 量的調査の方法 質的調査の方法 ソーシャルワークにおける評価	宮本
12	前期対策科目振り返り	これまで開講した科目の学習状況振り返り	宮本
13	前期テスト		宮本, 鈴木, 高橋, 片山
14	前期テストの振り返りと学習状況の確認	前期対策科目の振り返りと, 過去問回答演習を通して現時点の学習状況を整理する	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
15	国家試験ガイダンス	夏季休暇中の学習方法を理解する	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
16	国家試験ガイダンス	受験申込の手順(受験申込書配布)を理解する 学習の継続方法を理解する	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
17	過去問回答演習 : 医学概論	医学概論の過去問から学習を進める	宮本
18	過去問回答演習 : 心理学と心理的支援	心理学と心理的支援の過去問から学習を進める	宮本
19	過去問回答演習 : 社会学と社会システム	社会学と社会システムの過去問から学習を進める	宮本
20	合格者体験講話	合格までの学習経過を理解する 現時点での学習の取り組みを振り返り, 今後の学習計画を明確にする	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
21	過去問回答演習 : 社会福祉の原理と政策	社会福祉の原理と政策の過去問から学習を進める	宮本
22	過去問回答演習 : 社会保障	社会保障の過去問から学習を進める	宮本
23	過去問回答演習 : 権利擁護を支える法制度	権利擁護を支える法制度の過去問から学習を進める	宮本
24	過去問回答演習 : 高齢者福祉	高齢者福祉の過去問から学習を進める	宮本
25	過去問回答演習 : 障害者福祉	障害者福祉の過去問から学習を進める	宮本
26	過去問回答演習 : 児童・家庭福祉	児童・家庭福祉の過去問から学習を進める	宮本
27	過去問回答演習 : 貧困に対する支援	貧困に対する支援の過去問から学習を進める	宮本
28	過去問回答演習 : 保健医療と福祉	保健医療と福祉の過去問から学習を進める	宮本
29	通年期末テスト	これまで(後期)の学習の達成状況について各自で確認する。	宮本, 鈴木, 高橋, 片山
30	国家試験ガイダンス	受験に向けての最終確認 各自の受験までの準備状況を確認する	宮本, 鈴木, 高橋, 片山

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

試験は筆記試験を行う。

前期(50点満点), 通年期末テスト(50点満点)を行い, 二つの合算点数が成績となる。

前期・後期ともに授業内で試験を実施し, 60%(30点)未満は再試験を実施する。(日程は, 別途指定する)

前期・通年期末テストにおいて再試験で合格した場合は素点30点とする。

【教科書】

(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟 = 監修 社会福祉士国家試験模擬問題集

【参考書】

(一社)日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編 社会福祉士国家試験過去問題解説集(中央法規)
その他、必要がある場合には、適宜紹介する。

【学修の準備】

- ・ 該当科目の講義前には、教科書、参考書、ワークブック等で事前学習をしてから講義にのぞむこと(2時間)。
- ・ 講義内容の知識の定着を図るため、事後学習に取り組むこと(2時間)。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

【実務経験】

近藤尚也(社会福祉士)，高橋由紀(介護福祉士)，片山寛信(社会福祉士)，鈴木和(精神保健福祉士)，大友芳恵(社会福祉士)

【実務経験を活かした教育内容】

社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、ソーシャルワーカーとしての実践経験、国家試験の受験勉強も含めた学習経験をふまえ、社会福祉の歴史、法制度やサービスの概要・課題等について講義する。